

大会名称: **第20回東北大学バスケットボールリーグ**
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: **あづま総合体育館**

試合区分: **No. 20A1** **2次リーグ** コミッショナー: **佐々木桂二**

期 日: **2019(R01)年10月20日(日)** 主審: **橋貴志**

開始時間: **10:00** 副審: **加藤始 野崎梨奈**

終了時間:

山形大学	○	70		●	66	福島大学
(一部5位)						(一部3位)

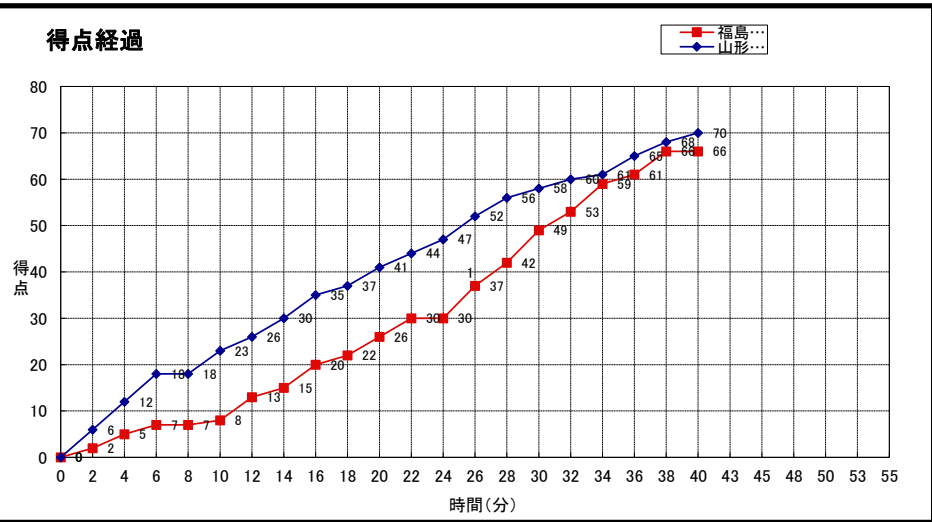
山形大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
19	*	米川 奈都恵	18	1	1	6	16	3	3	0	2	5	7	0	1	0	0	0
5	*	村中 つかさ	17	5	12	0	7	2	2	1	1	6	7	0	1	0	0	0
6		田中 綾	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9		駒ヶ嶺 里帆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		文倉 陽菜	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
11	*	梅堂 彩乃	5	1	5	1	4	0	0	1	6	7	0	3	0	0	0	0
12	*	佐藤 美羽	11	1	4	3	9	2	2	2	1	3	4	0	4	0	0	0
21		釜井 萌夏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	*	相原 百良	19	0	4	5	8	9	10	2	4	9	13	0	0	0	0	0
0		桜井 菜月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TEAM 合計			70	8	27	15	45	16	17	8	9	29	38	0	9	0	0	0:00
				29.6%		33.3%		94.1%										

福島大学

NO.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
17	*	加藤 香香	9	0	1	4	9	1	2	4	2	2	4	0	0	0	0	0
3		安藤 千遥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	*	八重樫 一紗	7	1	2	2	8	0	0	1	0	3	3	0	1	0	0	0
10		下川 柚依	4	0	0	2	3	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0
11		佐藤 すみれ	6	0	4	2	6	2	2	3	0	4	4	0	1	0	0	0
16		岸 聡子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21		菅野 聖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	*	仲谷 香南	6	0	2	3	8	0	0	4	1	1	2	0	0	0	0	0
23		佐藤 茜	14	4	6	1	4	0	0	1	0	2	2	0	3	0	0	0
30	*	面川 美空	20	4	9	4	11	0	0	3	2	12	14	0	6	0	0	0
0		鈴木 翔子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
TEAM 合計			66	9	24	18	49	3	5	17	5	25	30	0	12	0	0	0:00
				37.5%		36.7%		60.0%										

PST: ポイント FG: フィールドゴール F: フォール TO: ターンオーバー MIN: 出場時間
M: 成功 3P: 3ポイントシュート OR: オフェンスリバウンド AS: アシスト S: ステップ
A: 試投 2P: 2ポイントシュート DR: ディフェンスリバウンド ST: スチール OT: 延長
%: シュート率 FT: フリースロー TOT: トータルリバウンド BS: ブロックショット



ゲームレポート

2次リーグ福島大学vs山形大学の一戦は、前半、山形大#19を軸にした攻撃で一気に点差を広げる。追いつきたい福島大は激しいディフェンスを仕掛け、攻撃のリズムを掴み始める。しかし、粘り強く攻め続けた山形大は簡単に点差を縮めさせてくれない。山形大15点リードで前半終了。後半、お互い守り合いの展開が続く中、福島大#30が冷静にコントロールし、9点差まで詰め寄る。福島大の反撃は最終ピリオドになっても止まることなく、2点差まで詰め寄る。これに対し、山形大は#19が苦しみながらも得点を重ね、一度もリードを許さず試合終了。

○第1ピリオド 序盤、山形大は#19を軸にした攻撃でリズムを掴む。これに対し、福島大は3ポイントシュートで応戦する。しかし、好調の山形大#19をなかなか止めることが出来ず、オフェンスリバウンドも効果的に取られてしまう。苦しい状態が続く福島大であったが、チームディフェンスを徹底し、なんとか打開策を模索する。8-24 山形大16点リードで第1ピリオド終了。

○第2ピリオド 両チームともに走り合う展開となる中、第2ピリオドは互角の戦いを繰り広げる。福島大は攻撃のリズムを掴み始め、確率よくシュートを沈める。山形大は激しいディフェンスに苦しみ、思うような攻撃が出来ない。チームディフェンスを徹底した福島大が一時16点あった点差を、9点差まで詰めるが、この土壇場で山形大#19が躍動し26-41 山形大15点リードで第2ピリオド終了。

○第3ピリオド お互いに守り合いの時間帯が続く、なかなか得点が決まらない。山形大は#5が3ポイントシュートを確実に沈めるが、福島大#23もこれに負けずと入れ返す。均衡状態が続く中、福島大#30が冷静にコントロールし、自身も終了間際に3ポイントシュートを沈め9点差まで詰め寄る。58-49で第3ピリオド終了。

○第4ピリオド 開始早々、福島大#10がミドルシュートを沈め、それに続き#7の速攻が炸裂し、一気に流れを引き寄せ一時2点差まで詰め寄る。山形大は#19や#24が苦しみながらも、得点を重ねリードを保つ。残り2分で福島大#30の3ポイントシュートが炸裂し、再び点差は2点差に、残り47秒、山形大#19が1対1を確実に沈め4点差とする。福島大の反撃もここまで 66-70 山形大が4点差で逃げ切った。

担当者: ()

東北大学バスケットボール連盟